



昭和のくらし博物館 土曜講座 2016年

第17回

火鉢を囲んで建築の歴史

第一線で活躍する建築の先生方が、建物の魅力をわかりやすくお話して下さる、昭和のくらし博物館の人気講座です。登録文化財旧小泉家住宅で火鉢を囲みながら、建築との付き合い方をもっと身近に感じてみませんか。※講座内容は変更になる場合がございます。最新情報は昭和のくらし博物館のホームページをご覧ください。

1/30
(土)



「佐藤功一設計の旧足立邸 (1933年竣工)について」

講師: 内田青蔵先生 神奈川大学工学部建築学科教授

2/6
(土)



「赤坂離宮での暮らし ～昭和天皇の新婚生活」

講師: 平賀あまな先生 昭和女子大学非常勤講師
元内閣府迎賓館上席政策調査員

2/13
(土)



「“非都市”の暮らしへの憧れ ～週末住居ヒアシンスハウス構想」

講師: 津村泰範先生 ㈱文化財保存計画協会主任研究員

2/27
(土)



「崖・水・くらし ～建築以前のこと」

講師: 芳賀ひらく先生 東京経済大学客員教授

時間: 各講座とも 15:00～17:00(開場14:30)
懇親会 17:00～19:00(会費:500円 希望者)

会場: 鶉の木特別出張所(昭和のくらし博物館より徒歩すぐ)

東急池上線久が原駅又は多摩川線下丸子駅より徒歩8分

受講料: 4,500円 (全4回)

1,500円 (1回)

定員: 40名(要予約・先着順)



第17回 火鉢を囲んで建築の歴史

1/30
(土)

「佐藤功一設計の旧足立邸(1933年竣工)について」

講師: 内田青蔵先生 神奈川大学工学部建築学科教授

佐藤功一は、早稲田大学建築学科の創設者であり、戦前期の住宅界に様々なかたちで影響を与えた建築家のひとりです。しかしながら、その佐藤の手掛けた実際の住宅作品は意外に知られていません。今回、葉山に現存する佐藤の手掛けた旧足立邸を調査することができました。そこで、調査結果をもとに、この旧足立邸の概要とその魅力を紹介したいと思います。

2/6
(土)

「赤坂離宮での暮らし～昭和天皇の新婚生活」

講師: 平賀あまな先生 昭和女子大学非常勤講師・元内閣府迎賓館上席政策調査員

あまり知られていませんが、大正12年から昭和3年までの5年間、赤坂離宮には、皇太子時代から即位後の昭和天皇が居住されました。『昭和天皇実録』からは、赤坂離宮での新婚生活の様子が生き生きと伝わってきます。現在、迎賓館として使用されている赤坂離宮について、戦前の宮殿としての利用を見直してみたいと思います。

2/13
(土)

「“非都市”の暮らしへの憧れ

～週末住居ヒアシンズハウス構想」

講師: 津村泰範先生 ㈱文化財保存計画協会主任研究員

青春の憧れと悲哀を音楽性豊かな口語でうたいあげた詩人・立原道造(1914～1939)は、建築家でもありましたが、志なかばにして24歳8か月の短い生涯を閉じました。そんな彼が浦和郊外に構想した未完の週末別荘「ヒアシンズハウス」を通して、都会人の「非都市」暮らしへの憧れについて一緒に思いを馳せてみましょう。

2/27
(土)

「崖・水・くらし～建築以前のこと」

講師: 芳賀ひらく先生 東京経済大学客員教授

「昭和のくらし博物館」は、立川から約30キロつづく国分寺崖線の「しっぽ」の上に建っています。100年ほど前まで、崖上と崖下では、人間を含めた生きものの生存条件はまったく異なったものがありました。今日では建物に覆われ、見えにくくなっている地形を確かめながら、水と人間の生活の来し方をたどり、しかるべき未来への展望をさぐります。

申込方法

昭和のくらし博物館まで、メール、電話、FAXでご予約後、受講日の3日前までに下記郵便振替口座に受講料をお振込みください。

メールアドレス mail@showanokurashi.com

電話・FAX 03-3750-1808 ※お電話は金・土・日・祝日 10:00-17:00にお願いいたします。

●郵便振替口座

口座名: 昭和のくらし博物館 口座番号: 00110-9-138174

通信欄: 「建築講座受講料」とご記入ください(1講座ずつ受講の方は受講日もご記入下さい)。



昭和のくらし博物館(登録文化財旧小泉家住宅)

開館日: 金・土・日・祝日 10:00-17:00

〒146-0084 東京都大田区南久が原2-26-19

URL <http://www.showanokurashi.com/>

昭和26年建築の木造2階建ての住宅と家財道具を保存し、丸ごと公開している博物館。

昭和の庶民文化を研究する企画展などを開催するほか、衣食住に関する講座やワークショップを行う。